われら職場の神風隊たらん

比島沖に敵空母を求めて紅顏の若鷲は颯爽と基地を飛び立った、僚友の打ちふる白い手布、機上からにっとのぞくあどけない笑顏、嚴粛な一瞬、還らざる基地を發進する若鷲たちの心は水のやうに澄んでゐた、わが身はわが身でなく愛機すらわが身とゝもに敵艦に突っ込む巨彈なのだ、いまこそ―若鷲たちは静かに皇國の必勝を念願した、かへらじとかねて思へば―の小楠公の烈々たる氣持が凜々と胸に泌った、そして菊水の旗風とゝもに千古に薫る

"七生滅敵"の大念願が醜敵撃滅の大決戰場に還らざる肉彈となって花と咲いたのだ―「神風特別攻撃隊」の壯烈な体當りは一億の心に三千年を貫く日本精神を蘇らせた、ラジオ放送にきゝ入った人々は迫りくる感動に親子相擁して嗚咽し、街行く人々の胸を去來するあつい思ひはしらずしらず眼頭をうるませた、感激の話題は次から次へとひろがって行った、各職場では擴聲器でこの壯擧を報らせ、勤勞學徒は教師から訓辭されて皆泣いた、十九歳から二十四歳まで この攻撃隊員の年齡は自分たちの年頃ではないか、學徒も少年工も自らを省みて蹶然起った"われら職場の神風隊たらん"の叫びが澎湃と沸き上った、神風隊に續け―の炎が職場にすさまじい旋風をまき起したのだ「人生二十年」「二十五年」を合言葉に紅顏の若人はすべて皇國の御楯たらんと眦を決したのだ

『必成』皆勤と增産
學徒も工員も奮ひたつ

想へば紅顏の若武者たちが必死必中の肉彈をもって敵空母艦上に壯烈に突っこみ莞爾として敵艦もろとも南海に散った心情こそ唯ひとすぢの忠魂に燃え立ち、わけても同年輩の若人達の間には神風特攻隊につゞけ―の聲がその職場に油を注いですさまじいばかりだ

東海電極　台灣沖の大戰果に前後して〇〇トンといふ前例のない莫大數量の責任命令が下った"電極こそあらゆる近代兵器の母胎だ、勝敗の鍵は一にかゝって諸君の腕にあるのだ"と樋村工場長から突撃の號令を受けて全工場は奮ひ立った、その日から突貫作業の炎は切られこれを激勵するやうに相次ぐ捷報は全員の胸に飛び込んだ、同工場に勤勞動員中の眞宗高商、愛知中兩校の學徒は殘業、夜勤を再三願して許されず腕を撫してゐた折柄だけに喜びと感激が一時に爆發し"戰ってこの戰果に應へよ"と奮然工員に伍して增産を誓ひ高熱〇〇度の電爐、熔爐と取組み重量〇〇噸の電極運搬からトロ押し整形とあらゆる作業へ眞黒になって猛進した、終日全く休みなしの重筋作業は工員をも感嘆させた、この敢闘によって責任生産量は早くも目標通り完遂、このほど同社で增産の感謝大會を開いたが軍監督官部からも係官が出席しその努力を激賞した、その折から傳へられた「特攻隊」の偉勲はさらに感動し易い學徒の胸にこたへ增産体當りはまさに白熱的だ

金城螺子　熱田國民學校高等科女子は去月入職以來旋盤、ターレット、仕上の職場を守って敢闘、一割增産突撃運動の展開されるやこれに合流して皆勤と增産必成を決議して一日ごとに能率をあげ遂に五割增産の大戰果をあげ增産競爭の第一位を飾った

松村通信工業　田代國民校高等科女子は去月挺身以來電波兵器部品の選別ゲージ檢査など細密な作業を引受けて驚くほど迅速に習熟、出勤も毎日工員と同一時間を嚴守して規律も嚴正、入職一ケ月余の現在その能率は工員の二倍以上といふ優秀ぶりを持續し"僕たちも職場の若櫻たらん"となほ一層頑張りつゞけてゐる

矢嶋工業　長野縣松本二中の學徒たちもまづ台灣沖の大戰果に感激、驕敵にとゞめ刺すまではさらに增産だと誰いふとなく盛り上る感激は殘業決議となり引率教師と學徒代表が工場側へ申入れ十六日から毎夜十時まで夜勤作業に突進してゐたがさらに"若櫻"の盡忠無比の發表を耳にするや若い闘志はさらに燃え上り學徒の氣魄は全工場へ波及していま滅敵生産はすさまじく飛躍してゐる

三菱機器製作所　教育勅語渙發記念日の三十日午前十時から出動の中國民學校十一校の學徒を集め教育勅語奉讀式を擧行したが席上酒貫中川工業校長は「教育勅語の御精神を至高に發揮したものが神風特別攻撃隊といへよう"彼等は爆撃隊ではない爆彈だ"と敵空母に必死命中した神鷲の崇高極まる遺訓は永く肝に銘じなければならぬ」と五勇士の偉勲を詳細に説明するや參列の學徒から感動嗚咽さへ漏れて全員必死挺身を固く誓ひ合った

工場も必勝祈念
明治節に國民奉祝の時間

決戰下に迎へる十一月三日の明治節に當り大政翼贊會では「國民奉祝の時間」を制定しこの日午前九時を期し一億は揃って佳き日を壽ぐことになった、各家庭では奉祝の時間にそれぞれ宮城を遙拜し官公衙、學校、會社、工場、團体などは奉祝時間に必勝祈願祭も併せ行ひまた各神社では明治節祭を執行、市町村民はこの日それぞれ必勝祈願祭をなし愈々覺悟を新にして職域に邁進するの決意を固めることになった

教育祭

市原、大段博士ら
二百五十九柱を合祀

わが國教育の民族錬成に科學研究挺身中不幸不慮の厄に遭ひ日本科學技術振興の礎石と仆れた市原通敏博士（東北帝大教授）[illegible]の研究中壯烈殉職の華と散った大段智亮博士（東大助教授）をはじめ殉職教員及び學生、生徒、兒童二百五十九柱を新たに合祀する大日本教育會主催第九回教育祭は三十日大阪市大手前公園教育塔前で中部軍司令官（代理林參謀部長）高野大阪師團長、池田府知事、坂間市長外朝野教育關係者等二百余名參列の下にしめやかに且つ嚴かに繰り行はれた、生國魂神社二宮宮司を祭主に修祓、降神、獻饌、祝詞奏上につぎ大日本教育會長永井柳太郎氏（代理中野常務）の祭文奏上あって遺族代表、軍官民代表の玉串奉奠が行はれた

勤勞顯功章
模範工員らを表彰

軍需省では大戰果に應へる追撃增産に生産意欲の昂揚に資するため軍需省所管にかゝる會社工場事業場の經營者にして率先その職務に精勵し勤勞報國の實をあげ他の模範たるべきものに對し最高名譽たる勤勞顯功章令に基く軍需勤勞顯功章を授與することになり三十日軍需省勤勞顯功章令施行規則（省令）を公布即日實施した

第一條　勤勞顯功章令第一條の規定により勤勞顯功章を授與せらるべきものは本令に定むる軍需監理部長、地方鑛山局長又は地方燃料局長の表彰（以下地方表彰と稱す）を受けたるものゝ中よりこれを選考す、但し特別の事情ある時は特別に選考す

第二條　勤勞顯功章たる徽章を授與せらるべきものには表彰狀を付與す

第三條　勤勞顯功章たる徽章を授與さるべきものが授與前死亡したる時もこれを授與す

第四條　勤勞顯功章を授與せられたるもの、受賞者たるの面目を毀損するに至りたる時はこれを返納せしむ

第五條　勤勞顯功章を亡失または毀損したる時は軍需大臣は願出により再下付することあるべし

第六條　勤勞[illegible]徽章は本人に限り[illegible]し遺族[illegible]これを[illegible]

（**第七第八條**）略

第九條　地方表彰は令第一條第一項に掲ぐる事業に從事する勤勞者又はその團体にして率先その職務に精勵し勤勞報國の實を擧げ他の模範たる者に軍需監理部長、地方鑛山局長又は地方燃料局長、勤勞章を授與してこれをなすものとす（以下略）

頼む！一言激勵
總理工場を訪問

一億憤激米英擊摧國民大會に出席のため來阪中の小磯首相は三十日午前八時宿舎新大阪ホテル發、大阪府廳を訪問、大阪府知事池田清氏と懇談ののち府廳正廳で全職員に訓示をなしたのち同八時四十分住友金屬工業クラブ及びプロペラ製作所を視察、戰ふ學徒をはじめ女子挺身隊、應徴士などの奮闘ぶりを見さに激勵 午後は第一面所報の如く大阪中央公會堂の國民大會に出席、同三時大阪發歸京【寫眞は來阪中の小磯總理住友金屬〇〇工場で女子勤勞學徒の作業視察】電送

母も滅敵に燃える
"わが子よ續け"と激勵

―うちの子もあの人達のやうな働きをしてくれますやう―「必死必中」の肉彈を敵艦群の頭上に叩きつけ、征きて還らぬ若櫻の遺勲を感動の涙で聞いた世の母たちはいま静かに弱冠のわが子に比すべき若櫻たちの心中を思へば思ふほど溢れくる涙をとゞめもやらず強く叫ぶのだ、特に同じ年ごろのわが子を戰線に送る母たちの感激はいかばかり、心から"わが子よ續け"を神棚にひざまづき祈り續けたであらう、名古屋市昭和區福江町一、市川うたさん（五）は男三人兄弟中、長男喜代次一等兵が應召で某飛行隊に入隊したのち次男の一雄君（名市立航空工業校卒、中島飛行機某工場勤務）と三男隆雄君（三菱發動機某工場勤務）の止みがたい志望を快よく容れ豫科練に送り出した荒鷲の母である、豫科練兄弟の早くも一等兵曹に進級の喜報を受けたうたさんは"勿体ない、早く手柄を立てゝ御恩に報いておくれ"と返事を出したばかりのところへ聞いたのが神風隊の偉勲だ

私は教育もありませんが今度の戰爭はたとへどんなことがあらうとも勝ち抜かねばならないと思ってゐます、子供たちが飛行兵になりたいといったときにも親からすゝめることを子供たちからいってくれたと喜んで"あゝいゝとも"と一言で許してやりました、けさお父さんから神風隊の人たちの話を聞きましたがみんな子供と同じ年の人ばかりで本當によくやって下さったとおがみたいほどの氣持でしたあんな立派な人たちを生んだ海軍航空隊に籍をおく子供たちは幸福です、負けずにしっかりやるやうはげましてやります

うたさんの語るこの氣持こそ子を持つ母親たちが神風隊の神鷲を讃へて抱く共通した思ひであらう

女子工員決議

私達日本の乙女達が揃って神風攻撃隊勇士の心を心として生産に体當りしたなれば必ず敵米英の生産には負けますまい、今からこの士に續いて力の限り頑張ることをお誓ひしませう

これは愛知縣某毛織工場で絨衣生産に敢闘する女子工員達が二十九日夜緊急常會を開いての決議で、三十日から起床を一時間早め六時から職場入りして休憩時間も返上し頑張ってゐる

常時喫煙者だけ
あすから隣組で配給

タ　**バ**　**コ**

タバコの隣組配給はいよいよあす一日からだがまだ登録と配分の關係を十分理解せず配分を決定し兼ねるところもあるがこの問題について重ねて名古屋地方專賣局の説明をきくと

成年男子のみ登録させたのは單に各隣組への割當決定の基礎をつくるための便宜上の措置であって、登録者即ち被配給者ではない、從って隣組に割當てられたタバコは登録者各個人のものではなく隣組全員のものであるが、實際に配分をうけるのは成年男女の中の常に喫煙する者に限ってゐる、だから成年男子でも喫煙せぬ者へは配給する必要はない、配分に當っては女子も含めて喫煙者全体が圓滿合議の上決定して欲しい

明礬水で油代用品

工場增産に機械油は血の一滴にも等しいが愛知航空〇〇工場青木鐵一工場長（三）はブライス盤、旋盤などにマシン油代用として水に明礬を加へて摩擦による過熱を防ぐことに成功した、水では機械や製品に錆を生じるので明礬を混入したもの、青木工場長は右につき「油の不足を克服するため油に水を混合して成功してゐることも聞いてはゐますが、明礬水の使用も科學的にはいろ〱難しいものもあるでせうが現在自分らが使ってゐる範圍內では油に比して大した遜色はありません」と語ってゐる

頭山翁の遺骨郷里へ

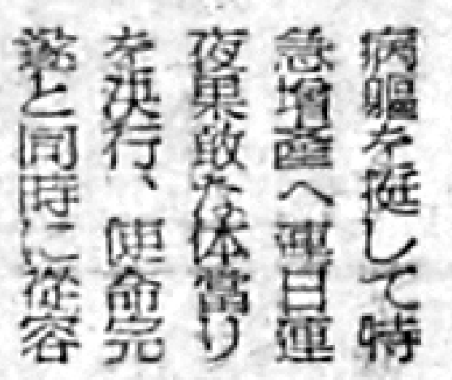
故頭山翁の遺骨は一日午前八時卅分東京驛發郷里福岡に向ひ五日福岡市內圓應寺と玄洋社の墓地にそれぞれ埋葬されることとなった

內原の音樂隊工場慰問

鍬の戰士も航空機工場へと茨城縣內原訓練所生徒〇〇名は三菱重工業〇〇航空機製作所に挺身中であったがさらに同訓練所音樂隊が三十日加藤完治所長に引率されて來縣、同工場産業戰士を慰問激勵してから東海軍需監理部、縣廳、市役所の職員に對し慰問演奏を行った

蹶然病床から增産に參加
故中川君へ日本碍子初の顯功狀

病軀を挺して特急增産へ連日連夜果敢な体當りを決行、使命完遂と同時に從容と職場に散った增産特攻隊の敢闘が全工場を感激と白熱の闘魂に沸き立たせてゐる



日本碍子〇〇工場に働く中川賀三氏（三二）＝長野縣埴科郡松代町＝は昭和十四年入社以來黙々增産に精進職場の中堅となってゐたが同社で去る二十一日を期して戰果に應へる三旬增産必成旬間の設定と增産突撃を開始するや腸カタルで療養中の身で蹶然病床參加、夜業に次ぐ夜業の陣頭に立ち時に二十九日は神風特攻隊五勇士の壯烈な報道を聞いて朝來からそれこそ全身滅敵增産へ火玉となって体當りし二十九日夕刻目標數を見事突破したが同夜八時遂に職場に昏倒、百方手を盡したが衰弱と過勞のため遂に再び起たず最後の息の下から"またやるぞ、またやるぞ"を連呼しつゝ息を引取った、同社では即日身分一級を特進、卅一日郷里で行ふ葬儀に際しその靈前へ同社最初の顯功狀を手向けることになった【寫眞は中川賀三氏】

彈丸切手と貯蓄債券

彈丸切手の第二十七回分が十一月一日から十五日まで全國郵便局で賣出される、抽籤は十一月二十日

また年末賞與を狙って發賣する戰時貯蓄債券四千万円が十二月日から二十日間賣出される、十円、七円五十錢分で第一回抽籤は明年四月一日

動員學徒の軍事教練査閲好成績

「學徒だけの集團工場は生産能率も素晴しいが、更に教練も非常に優秀だ」と安城、刈谷、半田各地方の生産工場へ動員中の男子中等學校教練査閲を了へた[illegible]大佐は講評し學徒の職場指導に示唆を與へた、講評要旨次の通り

◇…動員後最初の査閲だけに教練は十分徹底してゐないのぢやないかと杞憂してゐたが概ね好成績であった、特に武豊町の〇〇航空機工場へ動員の半田商業の"學徒だけの工場"が教練成績は随一であったとは學徒の職場集團中隊の可否に良き示唆を與へた、各工場が學徒專國[illegible]を注いでゐるのは結構なことで學校、工場一体となって勤勞と教練不離一体を圖って欲しい

◇…即ち學徒の指導をするものは肉親の愛情がなければならぬ同様の工場へ行っても學徒の能率は優良だと口を揃へて讃めてゐるけれど作業能率ばかりでも駄目だ、次の中堅軍人たるき職の肉体も鍛へて欲しい、体が頑健になれば生産能率も対上る筈だ

陸軍の少年兵
今卅一日締切

陸軍少年兵の志願締切は愈々けふ十月卅一日に迫った、今や一大決戰の最中、皇國の運命はその關頭に立つとき陸軍當局では一刻も早くと各學校、工場家庭にある少年とその父兄に注を喚起してゐる

點

古俵村へ返却

◇…數日前日曜供出のため古米俵を都市から返却してきたが、これは實に農家にとって最上の贈物で感謝に堪へぬ俵を作る藁は牛馬の飼料や堆肥の貴い資源であり又俵を編む勞力も人手不足の折柄並大抵でないこの觀点から古俵の返却は今後とも一俵でも多くとお願ひする（知多・中村生）

◇…中京では燃料不足に悩んでゐる由だが數里を隔てた當地方には燃料は有余ってゐ